

# 流域治水 × グリーンインフラについて

令和4年3月10日  
能代河川国道事務所

## ● 特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律案

<予算関連法律案>

### 背景・必要性

- 近年、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、全国各地で水災害が激甚化・頻発化
- 気候変動の影響により、21世紀末には、全国平均で降雨量1.1倍、洪水発生頻度2倍になると試算(20世紀末比)
- 降雨量の増大等に対応し、ハード整備の加速化・充実や治水計画の見直しに加え、上流・下流や本川・支川の流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、企業・住民等、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の実効性を高める法的枠組み 「流域治水関連法案」を整備する必要

### 法案の概要

#### 1. 流域治水の計画・体制の強化 【特定都市河川法】

- ◆ 流域水害対策計画を活用する河川の拡大
  - 市街化の進展により河川整備で被害防止が困難な河川に加え、自然的条件により困難な河川を対象に追加(全国の河川に拡大)
- ◆ 流域水害対策に係る協議会の創設と計画の充実
  - 国、都道府県、市町村等の関係者が一堂に会し、官民による雨水貯留浸透対策の強化、浸水エリアの土地利用等を協議
  - 協議結果を流域水害対策計画に位置付け、確実に実施



#### 2. 洪溢をできるだけ防ぐための対策 【河川法、下水道法、特定都市河川法、都市計画法、都市緑地法】

- ◆ 河川・下水道における対策の強化 ◎ 堤防整備等のハード対策を更に推進(予算)
  - 利水ダムの事前放流の拡大を図る協議会(河川管理者、電力会社等の利水者等が参画)の創設(※予算・税制)
  - 下水道で浸水被害を防ぐべき目標降雨を計画に位置付け、整備を加速
  - 下水道の樋門等の操作ルールの策定を義務付け、河川等から市街地への逆流等を確実に防止
- ◆ 流域における雨水貯留対策の強化
  - 貯留機能保全区域を創設し、沿川の保水・遊水機能を有する土地を確保
  - 都市部の緑地を保全し、貯留浸透機能を有するグリーンインフラとして活用
  - 認定制度、補助、税制特例により、自治体・民間の雨水貯留浸透施設の整備を支援(※予算関連・税制)

#### 3. 被害対象を減少させるための対策 【特定都市河川法、都市計画法、防災集団移転特別措置法、建築基準法】

- ◆ 水防災に対応したまちづくりとの連携、住まい方の工夫
  - 浸水被害防止区域を創設し、住宅や要配慮者施設等の安全性を事前確認(許可制)
  - 防災集団移転促進事業のエリア要件の拡充等により、危険エリアからの移転を促進(※予算関連)
  - 災害時の避難先となる拠点の整備や地区単位の浸水対策により、市街地の安全性を強化(※予算関連)

#### 4. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 【水防法、土砂災害防止法、河川法】

- 洪水等に対応したハザードマップの作成を中小河川等まで拡大し、リスク情報空白域を解消
- 要配慮者利用施設に係る避難計画・訓練に対する市町村の助言・勧告によって、避難の実効性確保
- 土砂による堆積した土砂の撤去、準用河川を追加

令和3年4月28日 成立

### 附帯決議(14項目)

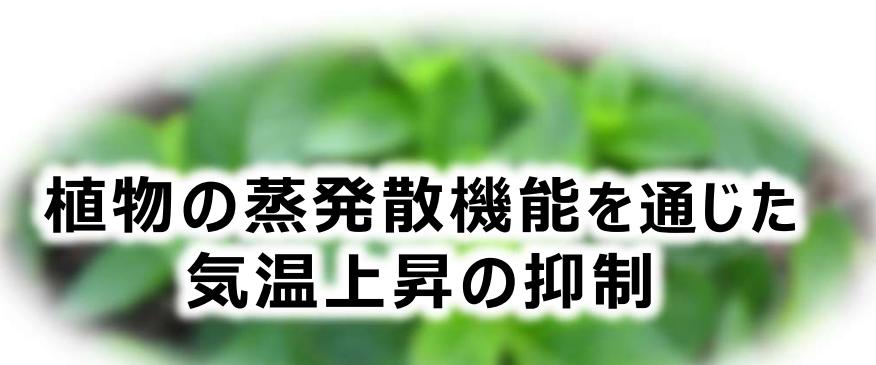
三 流域治水の取組においては、自然環境が有する多様な機能をいかすグリーンインフラの考えを普及させ、災害リスクの低減に寄与する生態系の機能を積極的に保全又は再生することにより、生態系ネットワークの形成に貢献すること。

流域治水の推進にあたっては、環境分野の取り組みも重要

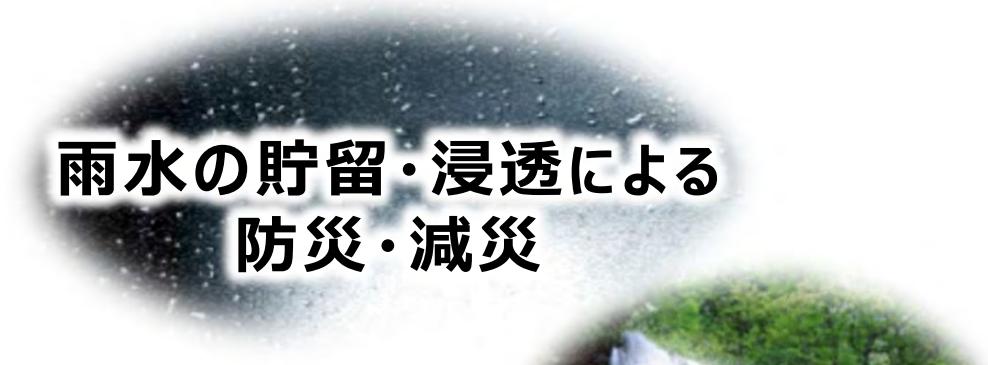
# グリーンインフラとは

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

## 自然環境が有する多様な機能



植物の蒸発散機能を通じた  
気温上昇の抑制



雨水の貯留・浸透による  
防災・減災



水源涵養



生物の生息・生育の  
場の提供



水質浄化



農作物の  
生産



良好な  
景観形成



土壤の  
創出・保全

# グリーンインフラの取組イメージ

## I 雨水貯留・浸透等による気候変動・防災・減災に関するプロジェクト

歩道の透水性・保水性舗装、植樹ます



グランモール公園  
(横浜市)

雨水を一時的に貯めてゆっくり地中へ浸透させ、水質浄化や修景機能も併せ持つ「雨庭」



四条堀川交差点  
(京都市)



## II 戰略的な緑・水の活用による豊かな生活空間の形成に関するプロジェクト

琵琶湖と市街地を結ぶ緑軸として公園を整備



草津川跡地公園  
(滋賀県草津市)



地域住民による緑地の管理



みつけイングリッシュガーデン  
(新潟県見附市)

## III 官民連携等による投資や人材を呼び込む都市空間の形成に関するプロジェクト

自然環境と調和したオフィス空間の形成



二子玉川ライズ  
(東京都世田谷区)



廃線高架橋における公園緑地整備による不動産投資の活性化



ハイライン  
(米国ニューヨーク州)

## IV 豊かな自然環境・景観・生態系の保全による地域振興に関するプロジェクト

生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川環境を保全・創出する多自然川づくり



鶴見川水系梅田川  
(神奈川県)



山間の荒廃した水田をビオトープや環境教育の場として活用



立梅用水土地改良区  
(三重県多気町)

# グリーンインフラがもたらす多面的な効果

従来から自然環境が持つ機能を活用し、防災・減災、地域振興、環境保全に取り組んできた

グリーンインフラで憩う

コロナ禍を契機として、**自然豊かなゆとりある環境で健康に暮らすことのできる生活空間の形成**が一層求められている

オープンスペースを活用した健康イベント(東京都立川市)

グリーンインフラでつなぐ

グリーンインフラは、植物の生育など時間とともににより機能を発揮。**地域住民が計画から維持管理まで参画できる取組**

地域住民による緑地の維持管理(新潟県見附市)

令和元年東日本台風時に、公園と一緒に遊水地が鶴見川の水を貯留し災害を防止するなど、**気候変動に伴う災害の激甚・頻発化への対応**に貢献

グリーンインフラで守る



グリーンインフラで呼び込む

SDGs、ESG投資への関心が高まる中、人材や民間投資を呼び込む**イノベーティブで魅力的な都市空間の形成**に貢献

緑や水が豊かなオフィス空間の形成(東京都千代田区)

グリーンインフラの活用により、防災・減災、国土強靭化、新たな生活様式、SDGsに貢献する持続可能で魅力ある社会の実現を目指す